

## 第 34 回講演会 開催報告書

### 1. 概要

開催日時 2021年2月27日(土) 15:00~17:00  
開催場所 ZOOM 開催  
参加者 128名

### 2. プログラム

15:00~15:05 開会あいさつ 富山県支部長 佐渡 正  
北陸本部長 大谷 政敬  
15:05~16:05 現象のデザインー身の回りの自然美を活かす造景の発想と方法ー  
元富山県土木部長 埴生 雅章 氏  
16:05~17:00 民俗学の視点から土木を考える ～ 妖怪伝承にみる土木技術者の姿～  
京都大学大学院工学研究科都市社会工学専攻 助教 中尾 聡史 氏  
17:00~17:05 閉会あいさつ 富山県支部幹事 大石 守仁

### 4. 開催概要

今回の講演会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、オンライン（zoom ウェビナー）で開催を行った。

公園づくりの体験から⇒ <自然美と庭>を考える

事例1 「庄川の河原」 太閤山ランド内

庄川の河原の風景

完成した「庄川の河原」  
(1992, エキスポとやま博)

河原の風景美 ⇒ 公園の中に庭として取り込む

土木を巡る世相(土木改名論の変遷)

・1987年「土木改名論を考える」研究討論会  
学者:「土木という言葉に対する一般のイメージが悪いこと」  
「イメージの悪さから優秀な若者がこの分野に進学しないこと」  
建設業界:「土木作業員という言葉にまつわる印象や利権がらみの体質をマスコミで  
探り上げることから、現場の仕事においても土木のイメージの悪さに困惑  
しており、ヘルメットをかぶっているところに来合わせた母親が「勉強しな  
いとあんな風になるのよ」と子供にさとしていた」

「現場服を着て現場に立っている私のそばを、小さな子どもを連れ  
たお母さんが通りかかって、「勉強しないとあんなことになるのよ」  
と言っているんですよ、本当に。(中略)現場服を着て現場に立っ  
ていると、そういうことは時々あるんだという話は先輩方からも聞いて  
いましたが、自分自身がそれを経験するとはまさか思っていません  
でした。」  
藤井聡(2014)『築土構木の思想』、大石久和の発言

写真 講演会風景

## 5. 参加者アンケート（回答者 93 名、76%の回答）

### （1）回答者の状況

40代～60代の参加者で約8割を占めている。  
 会員（正会員、準会員）が約半数を占めるほか、  
 一般からの参加が25%と非常に多くなっている。  
 専門分野は建設部門が大半を占めている。

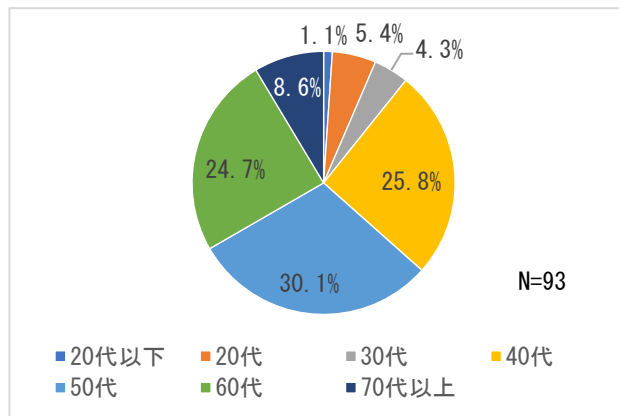


図1 アンケート回答年代

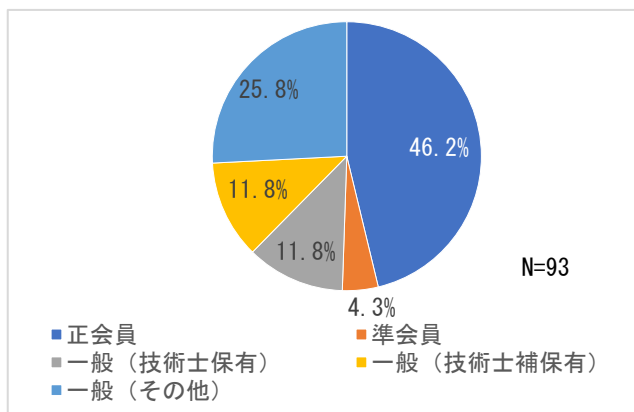


図2 参加者の入会状況

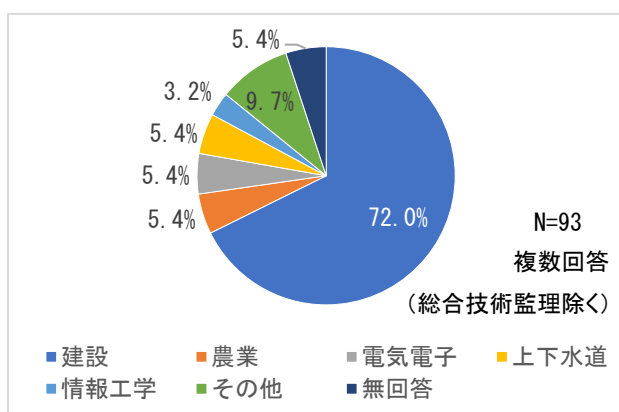


図3 専門分野  
 （※総合技術監理は除く）

### （2）講演会参加のきっかけと動機

講演会参加のきっかけは「富山県支部からのメール」が大部分を占めており、参加の動機としては「知識の習得のため」、「講演会のテーマに興味があった」が多く見られる。

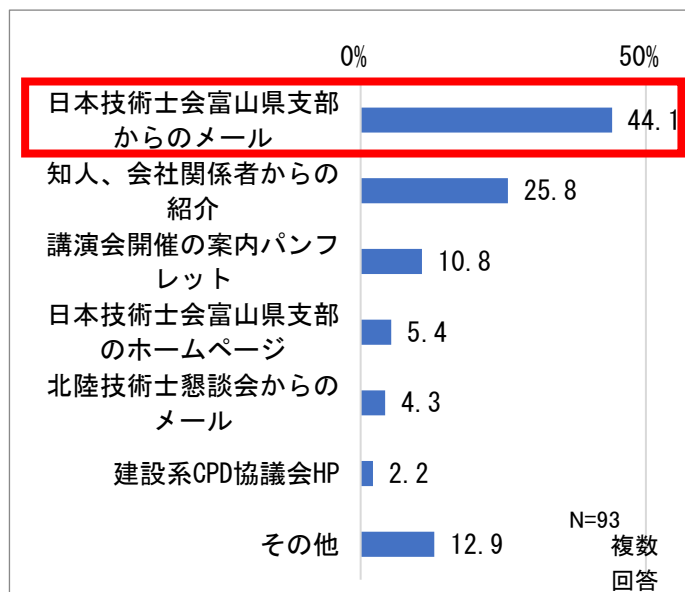


図4 参加のきっかけ

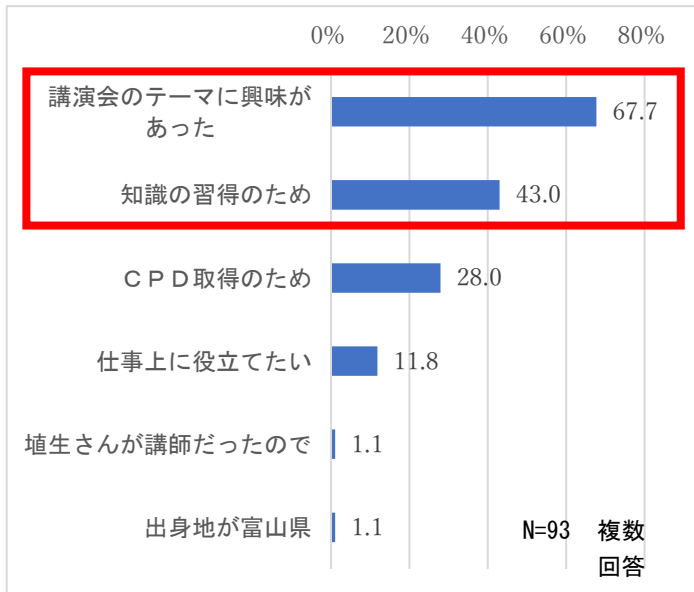


図5 参加の動機

### (3) 講演会の満足度

講演会の満足度は4点以上が約9割と総じて高かった。

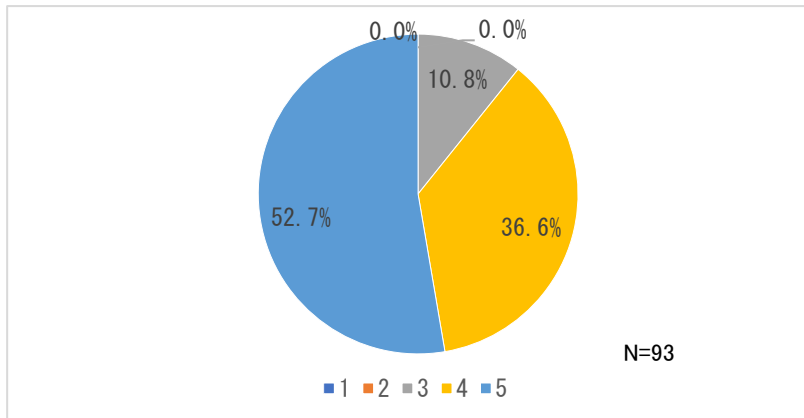


図6 講演会の満足度  
(※「5」が最も満足度が高い)

### (4) 具体的な評価に関する意見

#### 【良かった意見】

##### ●講演内容全般について

20代	技術士会の講演会は初めて聞きましたが、技術一辺倒ではなく（もちろん技術的な議論も大事ですが）、このように多面的な話を聞けるのは良いことだなと思いました
20代	たいへん貴重で珍しいテーマのご講演を企画頂きありがとうございました。通例通り最新の技術や事例に関するご紹介の講演も勉強になりますが、今回のように自分が専門としている分野と別分野との関りや繋がりにスポットを当てた内容も大変興味深く、世界が広がるような豊かな気持ちにさせていただきました。ありがとうございました。
40代	説明者の話が分かりやすかった
40代	他の講演会では聞くことができない斬新な内容で、興味深く聞かせていただくことができた。
50代	これまで聞いた講演で最も素晴らしかった。全く異なった視点で知見が広がった
50代	両公演とも、通常受講する講演と比べ、興味を持ちやすくくださったテーマだったので、このような講演を増やしていただくことで若い技術者候補の獲得につながればいいと思います。
50代	技術士会がいろんなテーマで講演を企画されるのは良いことだと思います。
50代	進行が明確で、講演内容も観点が珍しくおもしろかった。
60代	今回、民俗学からの土木、水等自然からの美・デザインの内容がためになった
60代	建設関連で仕事をするに当たって貴重な知識を得られました
70代以上	「身の回りの自然美を生かす造形」、「民俗学からの視点で土木を考える」など、発想の転換ができ良かった。
50代	「現象のデザイン」について、自然美からヒントを得て造景をするという内容を、多くの例を用いて視覚的に解説されていたので、専門外の分野に携わる者にとっても興味を持って拝聴することができた。「民俗学の視点から土木を考える」土木というものが名前、歴史、人の心の奥底にある穢れへの拒絶感に起因して敬遠されるという内容を様々な例を紹介しながら解説されていたので、興味深く拝聴することができた。
60代	水鏡の造形に関して十日町市のキナーレと清津峡トンネルの作品も見事だと思いました。土木と妖怪の話は興味があり、よく理解できました。ありがとうございました。
60代	埴生さんのような大きな池スペースは私にはないので、ほかの策を考えたいと存じます。中尾さんのネガティブな内容は語源が明確で参考になりました。社会基盤工学のような発想が必要かと思いました。今回の公演は自宅でも聞けるので、次回も参加したいと思います。ありがとうございました。

60代	自然の美しさに気づき構造物に取り入れることで冷たいコンクリートの塊というイメージから脱却できるのではということ。土木のイメージの悪い面を人間の差別意識の根源から考えるお話に感銘した。居場所のある普通の（強くない）者がより強い、汗みどろになって活躍し、普段は見るのが少ない変わった風体の者を見ると身を守るため遠ざけようと自然に思ってしまう意識を見事に説明していたと思います。折からオリンピックの差別発言などで問題となっているが、差別とはと見えさせようすればいいかヒントになりました。
60代	講演1については『自然と人が出会う場が庭である』との観点から、今一度、我が家の庭を観察したいと思った。また、講演2については、土木を専門としていないからかもしれないが、土木にマイナーな印象を持つ人がいることを初めて知った。また、できれば、文章だけではなく図や写真を加えて頂ければより理解が深まったと思う。
60代	普段、何気ない日常の風景でしたが、確かに小さな感動を発見していたことを思い出しました。もっと多くの感動を発見し、現在着手している自宅の箱庭の造作に生かします。土木という言葉については、少々知っていましたが、これほどとはショックを受けました。しかし、これまでの困難を乗り越えた土木技術に誇りを持っています。
70代以上	普段漠然と接している公園も見る角度を変えることでたくさんの効果があることが理解できたのでこれからもそのような観点で見ればよいと思います。公共工事を長年手掛けてきましたが、歓迎されることの裏に反対する意見ありました。根底には非常民の考えが根付いていたのかなと遅ればせながら思い起こしました。貴重な講演有難うございました。

#### ● 埴生氏の講演について

30代	趣味の範囲で日頃気になっていた点、考察していた点をお話いただいたように感じ、とても参考になった。
40代	「現象のデザイン」について、自分には無い着眼点や発想からの内容であり、非常に興味深かった。
50代	埴生氏の書籍を入手したタイミングでご本人からのお話をお聞きできるととても良い機会でした。
60代	普段見ている景色が、さらに深みが増して見ることでできそうです。
70代以上	資料に写真や図が多く掲載されており、講演内容の理解に大いに役立ちました。

#### ● 中尾氏の講演について

30代	「民俗学の視点から土木を考える」が大変興味深い内容だった。普段自分からは関心持つことのないテーマだったので、この機会に興味を持つことができてよかった。
50代	民俗学と土木については、全く別の観点からの土木へのアプローチだったので大変ためになった。
50代	土木と民俗学の関係性が「鬼」に置き換えられているとは知らなかった。非常に興味深かった。
50代	中尾先生のお話は、今まで考えもしなかった視点からの話だったので、とても勉強になった。
50代	色々な方面から見た土木の存在を感じることができた。
50代	技術に関する講演は多く聞いてきたが、本講演は一般の人から土木技術はどう見られているかが分かった。中尾先生の話はまた聞きたい。また、進行役の方もテンポがよく良かった。富山県支部の講演にはまた参加したい。

60代	特に講演2で、このような解釈もあって、これからの土木分野の意識変革が行えるのだろうと大いに勉強になりました。
60代	中尾先生のお話は大変面白かったです。
60代	同じ土を扱って農業に関しても共通点がありそうです（農業土木等）。小さい時からの教えによって、土木、農業の見方が変わってくるのではないのでしょうか

### ●講演会運営について

20代以下	スムーズな進行でよかった
20代	zoomでの配信でしたが特段大きなトラブルもなく良かったと思います。事務局として聴講者のターゲットをどこに設定しているかは分かりませんが、このような形式であれば一般の参加者も入りやすいかなと思います（議論の熱量という面では劣るかもしれませんが）
40代	各講演の時間配分が申し分なく、ありがちな急ぎ足の講演ではなくしっかり把握できた。
40代	今後もWEB形式が増えると思われそうですので、平日の夕方の開催や、YouTubeなどで聴講できると助かります。
50代	今回貴重な講演を拝聴できありがとうございました。オンライン方式では遠方でも参加できるので、コロナ禍が終息しても継続してほしいです。
60代	資料が事前送付されたので、理解しやすかった。
60代	土曜日の15時から17時の開催は、Zoom講演会に最適だと思います。
60代	リモートによる講演会はありがたい。富山県支部の会員以外でも聴講できる機会はとてもありがたい。

### 【改善要望意見】

#### ●ZOOMでの講演会について

40代	ウェビナーではなくミーティング形式のほうが参加者側として使いやすい。
50代	質問の仕方がわかりにくかった。
60代	時間制約の為なのか、少々早口だったように思われました。あっという間の2時間だったので、延長も有りなのかと思いました。
60代	会場の反応が全くないので盛り上がり欠ける。画面の下部に各自の短いコメントが反響の数に応じて複数行1から5流れる。とか拍手ボタンにより画面の枠が黒から白またはグレーから濃い虹色に変わるとかできないでしょうか。小さくても
60代	参加者が表示されていなかったことや、自分のビデオとマイクのアイコンが表示されず、オンなのかオフなのかわからなかった。どなたかが質問していたようにホスト側で一括オフにしていたのでしょうか。
70代以上	途中で、誤って退出してしまい、復帰できなくなった。
70代以上	画面の下に質問バーが出ていて、パワーポイントの最下部が見えにくかった。

●その他

50代	悪い点：開会のあいさつ時間がパンフの案内よりかなり長かった。
-----	--------------------------------

(5) 次回講演会の希望テーマ

50代	東日本大震災から10年経過しますので、改めて災害、防災について考える講演を期待しております。
30代	富山県における災害（寄り回り波、安政の大地震（鳶山崩れ）など）の歴史とこれからの防災
50代	再生可能エネルギー
70代以上	常温核融合の実験についてのあれこれ
40代	河川部門や河川構造物部門に特化した内容など。
50代	富山の河川が富山湾の生物に与えている影響
70代以上	環境分野、農業分野の講演に興味があります。
50代	建設部門でない分野の方に
60代	土木への異なった分野からのアプローチの講演など
60代	それぞれの技術部門において、技術発展の歴史と、今後の展開を俯瞰するような講演を聴きたい。
70代以上	北陸地方の成り立ちとかがあればご拝聴できればと思います。
30代	今回のように地域性も含むテーマと、総論的なテーマの構成がよい。
20代	特に中尾先生のお話は今まで考えたこともなかった視点からのお話で大変興味深かったです。ぜひこのような講演も増やしてほしいと思いました。
50代	土木技術論も大切だが、今回のような気づきや観点も聞きたい。
50代	別分野の話でもトレンドな内容は聞いてみたい。
60代	京都大学、藤井先生のご講演を機会があれば、お聞きしたい。
60代	雪に関する話題はいかがでしょうか。中谷宇吉郎からトミオカホワイトまで、防災ぬきで雪の表情をテーマに。
40代	コロナ禍ということで衛生工学、生物工学分野と、不要不急の外出自粛等で経済活動が制限される中での経営工学、情報工学分野の技術士の方のご意見、ご講演をお聞きしたいです。
60代	ウイルスの感染の話
40代	社会資本維持管理関連
40代	富山市のコンパクトシティについて
40代	生物（川や海の生き物）と土木のあるべき姿。
40代	BIM/CIM 関係
50代	講演1について、とても関心を持ったので、それに関連する講演等が聞きたいです。
50代	インフラメンテナンスにおける3D画像の活用技術
50代	①歴史の観点からみた土木技術者と CIVIL engineer の違い②土木技術のこれから、古代から土木技術の革新はあったのか？
60代	全国放送でも取り上げられた富山のコンクリート構造物の延命対策のその後について
60代	地域活性化の例
60代	常民の生活（絹の前は何を着ていたか？何を生計としていたか？）、将来の社会基盤整備の在り方等